

自昭和九年七月一日
至昭和九年七月三十一日
表紙表裏

陣中日誌

第二號

獨立混成第十五聯隊第三中隊

軍中日記

第三中隊

天月候日

昭和十九年七月一日

六曜

晴

留營地

留志野東麻倉

記事

一、小隊軍曹以下二十六名門司驛に向て前進

二、中隊半數準備

人員

總員一五二名 事故三七名 現在員一〇五名

事故内詳 小熊軍曹以下二十六名先發中村大隊長傳



大月候日

昭和十九年七月二日 日曜日

晴

記事

一、隊長以下十三名留志野東麻倉撤収門司に向て前進

二、隊員留志野東麻倉

三、隊員留志野東麻倉

發受領ス

給養 本夕食ヨリ舎主給與

人員 現在員一〇〇名



天月 昭和十九年七月五日 水曜日 晴

宿營地 宮崎縣新田村

命令 一 聯隊ハ陸航輸作命第五百一號ニ依リ急據那霸ニ

向ヒ空輸ニヨリ前進セントス

ニ各隊ハ計畫表ニ基キ新田原飛行場發那霸ニ向ヒ

前進スベシ

三四五省略

衛生 一〇、四〇一、一一、〇〇

人員 現在員一〇〇名



天月 昭和十九年七月六日 木曜日 晴

宿營地 宮崎縣新田村

命令 獨立混成第十五聯隊作命第五號 於嘉手納

一 沖繩本島附近ニハ米ヲ敵ヲ認メザルモ状況

急進シタルモノ如シ

聯隊ハ獨立混成第四十四旅團長ヲ指揮下ニ入

ラシナラシ

二 先ヅ嘉手納附近ニ集結シ爾后行動ヲ

準備セントス

三 各隊ハ北飛行場ニ到着スル迄次兵力ヲ嘉手納

附近ニ集結シ爾后行動ヲ準備スベシ

四集結間、指營給養、特設警備第ニ三四
中隊、設營モミトコロニ依ルハシ

五省 略

記 事 藤本少尉以下二六名沖繩島高向ニ出發、四、〇、〇

梁瀬軍曹以下九名沖繩島高向ニ出發、一、三、〇、〇

兵 器 手榴彈一、〇、發 擲彈筒榴彈八、ニ、發 大隊本部

ヨリ受領ス

人員 現在員 六 五 名



天月 昭和三十九年七月七日 金曜日 晴

宿營地 宮崎縣新田村

説 事 薩野少尉以下二六名沖繩島嘉手納向ニ出發、〇、八、〇

堀越伍長以下一〇名 内務衛兵上番

人員 現在員 三九名



天月 昭和三十九年七月八日 土曜日 晴

記 事 中隊長以下三九名沖繩島嘉手納向ニ出發、〇、八、〇

嘉手納並飛行場着、〇、九、五、〇

農林學校着、一、三、〇、〇

先發藤本少尉以下六十一名率隊ス

衛生 本隊衛生状態本邦最下位ナルニ鑑ミ種々注意アリ

人員 現在員 一、〇、〇 名



天月 昭和三十九年七月九日 日曜日 晴

宿營地 嘉手納農林學校

天候	昭十九年七月十日 日曜日 晴
宿营地	嘉手納農林學校
記事	中隊長以下七名準備地區具志川村ニ向ヒ米費 中隊軍紀教練。九〇〇。一。一〇〇。 現在員九三名
天候	昭和十九年七月十日 火曜日 晴
宿营地	嘉手納農林學校
記事	一軍紀教練。九〇〇。一。一〇〇。 二轉進準備一三〇〇。一。一七〇〇。 現在員九三名
人員	

(編谷島・在野)

天候	昭和十九年七月十二日 水曜日 晴
宿营地	嘉手納農林學校ヨリ具志川國民學校ニ
記事	轉送ス 大野見習士官以下九名(機間銃九名ヲ含ム) 行軍ヲ以テ具志川村ニ向ヒ前進ス。八。三〇 具志川村具志川國民學校到着 一三。〇〇 石井伍長以下七名車行ス
命令	中隊命令 一日直勤務左ノ通り服務スベシ 十二日 陸軍少尉 大野 誠一 十三日 陸軍書長 塚越 経照 十四日 陸軍少尉 藤本 孝 十五日 同 薩野 一郎 十六日以降順ヲ追テ繰返シ服務スベシ

陸軍兵長 冲倉大助	二	陸軍主任者迄 給與係 陸軍軍曹	功刀達三ノ助手ヲ命ス 依テ炊事	一起居ヲ命ス	三 陸軍伍長 堀越太代 以下七名	勝連村平敷屋ニ至リ今迄ヲ命ス	給養 本日夕食ヨリ中隊給與	高地ハ野菜肉類ニ意シ給與良好ナリ	衛生 概テ健康状態良好ナリ	人員 現ヨリ員一〇八名(内機關銃九名含ム)	天候 昭和十九年七月十三日 木曜日 晴	宿營地 具志川國民學校
-----------	---	-----------------	-----------------	--------	------------------	----------------	---------------	------------------	---------------	-----------------------	---------------------	-------------

(特務員・炊事)

記事	一、下士官以上全員字備地區現地偵察	二、兵八學校 校庭ニ掩体ヲ構築ス	三、堀越伍長以下七名平敷屋部落ニ分屯ス	二、三第二回豫防接種。七、三。	現在員一〇八名	本機關銃九名ヲ含ム	昭和三十九年七月十四日 金曜日 晴	宿營地 具志川國民學校	記事 中隊長陣地構築	中隊 具志川附近陣地構築	作業時間 八三〇—一二三〇 一四三〇—一八〇〇	先ツ待避壕(横文)ノ構築ヲ始ム	衛生 全員概テ健康状態良好ナリ
----	-------------------	------------------	---------------------	-----------------	---------	-----------	-------------------	-------------	------------	--------------	-------------------------	-----------------	-----------------

人員

現在員一〇八名

内機關銃九名含ム



月日

昭和十九年七月十五日

土曜日

晴

看管地

具志川國民學校

記事

部隊長殿陣地視察

一四〇〇

中隊長陣地

兼指導

一四〇〇 一八〇〇

中隊具志川附近陣地構築

人員

現在員一〇八名

内機關銃九名含ム



月日

昭和十九年七月十六日

日曜日

晴

宿營地

具志川國民學校

命令

獨混十五作命第八號

中頭地區隊命令

昭和十九年七月十六日

一、中部太平洋方面ヨリスル我南西諸島ニ對スル敵進

攻ノ公算ハ逐日増大シツテヤリ

軍ハ一部ヲ以テ伊江島本部半島ヲ確保スルトモ

ニ主力ヲ以テ沖繩本島南半部ニ陣地ヲ台領

シ、海空軍ト協同シテ極力敵戦力ヲ消滅ヲ圖リ

機ヲ見テ主力ヲ機動集結シテ攻勢ニ転ジ

敵ヲ沖繩本島南半部ニ退滅ス

二、中頭地區隊ハ担任地區沿岸地帯ニ陣地

ヲ構築シテ敵ヲ欺蔽スルトモニ担任地區

内ニ在ル軍直轄及區署部隊ヲ區署

シ警備ニ任セントス

三、各守備隊ハ前任務ヲ續行スルトモニ敵

ヲ欺瞞スル爲特ニ地方防衛團、住民等ヲ
極力協力セシメ、担任地域、沿岸地帯ニ
陣地ヲ構築シ、且沿岸ニアル樹木ヲ
以テ海岸ニ防務ヲ施設スベシ
之ヲ完成スルハ八月下旬ト予定ス

四、五、省略

獨混作命第九號

中野地區隊命令

昭一九一五年一月一日
吉 野

一、帝國在郷軍人會沖繩支部ハ管内
ニ防衛隊ヲ編成セリ、旅團ハ作戰ニ當
リ之ヲ指揮ス

二、地區隊ハ担任區域内ニ在ル防衛隊裝備訓
練ヲ指導援助シテ之ガ戦力ノ充
實ヲ期シ開戦ト共ニ備ヒ指揮シ

防衛ニ任ゼントス

三、各半備隊ハ區域内防衛中隊ノ裝備訓練ヲ指導ス
ベシ訓練ノ重要ト監視搜查警戒及夜間ニ於テ奇
襲動作トス

六、東半備隊ハ與那域中隊(一五四)ヲ以テ勝連半島北岸
ヲ勝連中隊(二一九)ヲ以テ同南岸ノ防衛ニ任ゼシメ戰
斗ノ進捗ニ伴ヒ早志川中隊(二六五)ト共ニ中域博泊岸
既設陣地ヲ占領セシムベシ

四、五、七、省略

中隊長平敷屋分屯據越分隊陣地視察ノ夕平
敷屋部落ニ出張
○九。○。 一七。○。○

衛生

歸隊ス
中隊
早志川平敷屋附近陣地構築
全員概ニ健康状態良好ナリ

記事

人員 現在員一〇八名

機關銃九名含ム



月 候

昭和十九年七月十七日 月曜日 晴

宿营地

身志川國民學校

通牒

美副第二號

部隊通牒號配當ノ件

個有名 獨立混成第十五聯隊

配當ニシテ

通牒號 球第七八三ノ部隊

記事

中隊長陣地 一五〇〇 一〇〇〇

中隊員志川平敷屋附近陣地構築

村民、軍ニ對スル感情極ク良好ニシテ行動上種々ノ

便宜ニ受ク

良好ナリ

現在員一〇八名

機關銃九名含ム



月 候

昭和十九年七月十八日 火曜日 晴

宿营地

身志川國民學校

記事

中隊長陣地 一〇〇〇 一〇〇〇

中隊員志川平敷屋附近陣地構築

寺邑軍醫來隊診斷練兵休患者ナシ

現在員一〇八名

機關銃九名含ム



月 候

昭和十九年七月十九日 水曜日 晴

看管地	具志川國民學校
記事	中隊長陣地構築 中隊具志川平敷屋附近陣地構築
人員	現在員一〇八名 機関銃九名 合員
月日	昭和十九年七月二十日
天候	木曜日 晴
宿營地	具志川國民學校
命令	獨混一五作命第一號 中頭地區隊命令 一地區隊ハ築城トシテ各隊ニ爆破作業ヲ修得セシムル ニ各隊ハ爆破作業ヲ修得者トシテ

記事	中隊長具志川村長(天願泰治郎)具志川(又吉功一)聯連(伊波真藏)與那城(比嘉春介)各所衛隊長招致左記事項打合ス 一マロロ
左記	軍ノ指示ニヨル射撃ニ関スル件通達 陣地ノ構築 沿岸所禦資材トシテ丸石五百本ヲ各所衛中隊ニ準備 一四三〇部隊副官系隊築城協同隊機用ニ関シ打合ス 中隊長陣地視察指導 一四〇〇一 一八〇〇 中隊長具志川平敷屋附近陣地構築 員現在員一〇八名(機関銃九名合員)



日期	昭和十九年七月二十日	金曜日	晴
著营地	县志川國民學校		
命令	下士官昇給一團不此命令	陸軍少曹	保坂虎吉
給一等級	(六月三十日所)		
記事	中隊長陣地精査指導	一〇八三〇〇一	一〇八三〇〇二
人員	中隊長志川平敷屋附近陣地精査	一〇八三〇〇一	一〇八三〇〇二
人員	現在員一〇八名		
機関銃	九名舎		
日期	昭和十九年七月二十日	土曜日	晴
著营地	县志川國民學校		
記事	中隊長陣地精査指導	一〇八三〇〇一	一〇八三〇〇二
人員	中隊長志川平敷屋附近陣地精査	一〇八三〇〇一	一〇八三〇〇二

人員	現在員一〇八名(機関銃九名舎)		
日期	昭和十九年七月二十三日	日曜日	晴
著营地	县志川國民學校		
記事	中隊長陣地精査指導	一〇八三〇〇一	一〇八三〇〇二
被服	中隊長志川平敷屋附近陣地精査	一〇八三〇〇一	一〇八三〇〇二
人員	冬衣袴一三着 勝隊本部より受領		
人員	現在員一〇八名(機関銃九名舎)		
日期	昭和十九年七月二十四日	月曜日	晴
著营地	县志川國民學校		
通牒	美副第二號		
記事	被服新調希望者調査二團不此		
記事	中隊長陣地精査指導	一〇八三〇〇一	一〇八三〇〇二

人員	現在員一〇八名	中隊 吳志川 平敷 庭附近 警備
天候	昭和十九年七月二十五日 火曜日 晴	宿營地 吳志川 國民學校
記事	旅團長閣下、却隊長殿 旅團副官殿 陣地構築視察	中隊長 陣地構築 一四三〇一八〇〇
衛生	良好ナリ	中隊 吳志川 平敷 屋附近 陣地構築
給養	良好ナリ	健康狀態 良好ナリ
人員	現在員一〇八名	
天候	昭和十九年七月二十六日 水曜日 晴	

宿營地	吳志川 國民學校	命令	獨混一五作命第十二號
記事	三四五六七八九十十一省略	獨立混成第十五聯隊命令	古 昭和十九年七月二十六日
衛生	中隊長 陣地構築	一聯隊、後續人員及資材ハ七月二十五日那霸埠頭、揚陸ヲ完了シ集結セリ	
人員	現在員一〇八名(機肉銃九名含ム)	二聯隊ハ人員、彈藥、資材ヲ各埠備地ニ輸送セントス	
天候	昭和十九年七月二十七日 木曜日 晴		

宿營地

具志川國民學校

記事

中隊長陣地構築 一〇・三〇一 一六・三〇

中隊具志川平敷屋附近陣地構築

陣地中横穴ハ松丸太ニテ強化シ各個掩体

交通壕モ七分通り機成セリ

全員健康状態概不良好ナリ

良好ナリ 現在員一〇八名(機関銃九名含む)

衛生

給養

人員

天日

宿營地

昭和十九年七月二十八日 金曜日 晴

具志川國民學校 獨混十五作命第十五號

中頭地區隊命令 於一九・七・二八 一六・三〇

一地區隊ハ現實實施中、陣地構築ヲ一時中止シ

主トシテ教育訓練ヲ實施セントス

二各隊ハ構築陣地ニ於テ主トシテ射撃ハ肉攻ヲ福彈

格斗(腰狙射撃ヲ含む)並ニ敬禮 演習ヲ實施

施スベシ

三各隊ハ將來ノ移駐地ノ状況ニ鑑ミ爲シ得ル限リ、

作戦資材ヲ現地ニ於テ收集ニ努ムル共ニ個人

裝備並ニ携行物品ヲ検査ヲ實施スベシ

四省 略

中隊長陣地構築 一六・三〇一 一六・三〇

中隊具志川平敷屋附近陣地構築 一六・三〇一 一六・三〇

本日突然陣地構築中止、命令まゝニ

轉進ハ兵隊ノ常ナリ大命ヲ拜セバ隊長以下一丸

トナリテ水火ノ中ニ突入セン

然レドモ精根ヲ傾注シタル我陣地 全員愛惜ノ

情、切ナルモ、アリ

サレド約二十日間陣地構築ハ大ニ改善ヲ興ヘタリ

良好ナリ

概テ良好ナリ

現在員一〇八名(機関銃九名含む)



給養 衛生 員

天候 日

宿營地

命令

昭和十九年七月廿九日

耳志川國民學校

獨混十五作命第十六號

中頭地區隊命令

一旅團ハ近ク移駐ヲ予期ス

二三省略

軍紀教練

戦技教練

土曜日 晴

七、二九、一〇、三〇、
廿、三〇、

〇、〇、〇、一、一、二、〇、〇、
一、三、〇、〇、一、一、六、〇、〇、

一、三、〇、〇、一、一、六、〇、〇、

記事

給養

衛生

人員

良好ナリ

下痢患者二名アリ

現在員一〇八名(機関銃九名含む)

天候 日

宿營地

記事

昭和十九年七月三十日

耳志川國民學校

休養

國民學校内ニ軍官民合同演藝會ヲ開催ス珍

妙ナル演藝ノ連發ニ大ニ明日ヨリノ銳氣ヲ充塞ス

良好ナリ

概テ良好ナリ

現在員一〇八名(機関銃九名含む)

人員

衛生

給養

昭和十九年七月三十日

月曜日

看管地 耳志川國民學校

記 幸 軍紀教練。入。一。一。一。一。

戰技教練 一三。一。一。一。

後教者齊藤義一伍長以下三名(内二名入院)

到着ス 一五。

中隊戦力後教者ヲ加ヘテ益々充テ実ス

良好ナリ

概テ良好ナリ

現在員 (三人名) 機関銃九名(今)



給養 衛生 員